

1) 年齢階級別退院患者数

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	0	16	118	117	212	276	462	641	675	252

60歳以上の患者の割合が7割を占め、地域社会の高齢化を反映しています。

2) 診断群分類別患者数（診療科別患者数上位5位まで）

◇10 症例に満たない場合は「-」で表示することとなっており、対象患者が「0」ではありません。

内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院 日数 (自院)	平均 在院 日数 (全国)	転院 率	平均 年齢	患者用 パス
170020xxxxxx0x	アルコール飲酒による精神および行動の障害	72	1.40	2.66	0.00	33.50	
110310xx99xx0x	腎臓または尿路の感染症【特別な手術・処置を伴わないもの】	63	18.00	12.34	11.11	79.49	
030400xx99xxxx	前庭機能障害【特別な手術・処置を伴わないもの】	50	3.76	5.15	0.00	64.58	
040081xx99x00x	誤嚥性肺炎【特別な手術・処置を伴わないもの】	41	19.46	20.83	14.63	85.00	
060340xx03x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎【内視鏡的胆道ステント留置術等を伴うもの】	41	24.93	10.61	2.44	77.34	

内科的疾患の全般を担っています。誤嚥性肺炎は平均年齢が85歳と高齢の患者の治療を行っています。めまい患者も脳神経外科や耳鼻咽喉科外来と連携をとって治療にあたっています。

循環器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院 日数 (自院)	平均 在院 日数 (全国)	転院 率	平均 年齢	患者用 パス
050050xx02000x	狭心症、慢性虚血性心疾患【経皮的冠動脈ステント留置術等を伴うもの】	29	5.17	4.62	0.00	69.28	
050210xx97000x	徐脈性不整脈【ペースメーカー交換を伴うもの】	26	11.12	11.21	0.00	80.88	
050050xx99100x	狭心症、慢性虚血性心疾患【心臓カテーテル法による諸検査を伴うもの】	25	2.32	3.03	0.00	65.56	
050130xx99000x	心不全【特別な手術・処置を伴わないもの】	12	24.58	17.71	8.33	82.83	
050050xx99200x	狭心症、慢性虚血性心疾患【心臓カテーテル法による諸検査を伴うもの、血管内超音波検査あり】	-	-	3.19	-	-	

心臓疾患の患者を主に担当している循環器科では、狭心症診断を行うための心臓カテーテル検査や経皮的冠動脈ステント留置術を行っています。

外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院 日数 (自院)	平均 在院 日数 (全国)	転院 率	平均 年齢	患者用 パス
060035xx99x60x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍【化学療法、ペバシズマブ使用】	51	3.14	4.47	0.00	71.94	
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷【特別な手術・処置を伴わないもの】	23	2.22	7.34	0.00	59.04	
060035xx99x50x	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍【化学療法、オキサリプラチン使用】	21	3.00	4.38	0.00	73.29	
060245xx97xxxx	内痔核【痔核手術を伴うもの】	21	6.29	5.71	0.00	61.38	
060040xx99x50x	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍【化学療法、オキサリプラチン使用】	15	4.00	4.31	0.00	71.47	

外科では主に胃癌、大腸癌などの悪性腫瘍に対する集学的治療（手術療法、化学療法など）を行っています。良性疾患では、痔疾患、胆石症、鼠径ヘルニアなどの手術を行っています。

整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院 日数 (自院)	平均 在院 日数 (全国)	転院 率	平均 年齢	患者用 パス
160800xx01xxxx	股関節大腿近位骨折【人工骨頭を挿入するもの、骨折観血的手術などを伴うもの】	68	65.93	27.09	1.47	81.16	
160690xx99xx0x	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。)【特別な手術・処置を伴わないもの】	65	59.22	19.94	10.77	78.25	
160700xx97xx0x	鎖骨骨折、肩甲骨骨折【骨折観血的手術などを伴うもの】	19	8.21	5.54	0.00	53.89	
160720xx01xx0x	肩関節周辺の骨折脱臼【骨折観血的手術などを伴うもの】	19	19.68	13.35	5.26	68.42	
160760xx97xx1x	前腕の骨折【骨折観血的手術などを伴うもの】	17	17.12	19.82	0.00	74.94	

整形外科の入院患者の特徴は高齢者の大腿骨近位端骨折や脊椎椎体骨折等の骨脆弱性骨折が多くなっています。

形成外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院 日数 (自院)	平均 在院 日数 (全国)	転院 率	平均 年齢	患者用 パス
160200xx0200xx	顔面損傷(口腔、咽頭損傷を含む。) 【鼻骨骨折整復固定術をとともうもの】	-	-	5.60	-	-	
160200xx0100xx	顔面損傷(口腔、咽頭損傷を含む。) 【下顎骨折観血的手術等をとともうもの】	-	-	13.74	-	-	
100100xx97x1xx	糖尿病足病変 【デブリードマンなどを伴うもの】	-	-	51.26	-	-	
160200xx9700xx	顔面損傷(口腔、咽頭損傷を含む。) 【創傷処理を伴うもの】	-	-	5.82	-	-	
020230xx97x0xx	眼瞼下垂 【眼瞼下垂症手術を伴うもの】	-	-	3.29	-	-	

形成外科は顔面骨骨折や体表面全般の手術を行っています。

脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院 日数 (自院)	平均 在院 日数 (全国)	転院 率	平均 年齢	患者用 パス
010060x2990401	脳梗塞(脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満) 【手術なし 手術・エダラボン使用 副傷病なし発症前Rankin Scale 0、1又は2】	39	26.82	16.38	20.51	68.69	
010040x099x00x	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)(JCS10未満) 【特別な手術・処置を伴わないもの副傷病なし】	32	49.44	19.10	34.38	64.91	
160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 【特別な手術・処置を伴わないもの】	31	7.87	7.34	6.45	63.58	
010230xx99x00x	てんかん 【特別な手術・処置を伴わないもの】	24	4.96	6.32	0.00	55.38	
010030xx9910xx	未破裂脳動脈瘤 【動脈造影カテーテル法を伴うもの】	12	9.67	3.14	0.00	64.50	

脳神経外科では脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、頭部外傷などの脳の救急疾患を主に治療しています。急性期の治療後は同一施設内の回復期リハビリテーション病棟に転棟しリハビリが継続可能です。くも膜下出血予防のため、未破裂脳動脈瘤入院も増えています。

※患者数には急性期病棟から回復期リハビリテーション病棟に移り退院した患者数は含まれておりません。

※2017年の脳梗塞患者数は173人、脳出血は98人、くも膜下出血は22人でした。

眼科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院 日数 (自院)	平均 在院 日数 (全国)	転院 率	平均 年齢	患者用 パス
020200xx9710xx	黄斑、後極変性【硝子体手術あり、水晶体再建術を伴うもの】	19	9.58	7.31	0.00	69.84	
020200xx9700xx	黄斑、後極変性【硝子体手術を伴うもの】	-	-	7.38	-	-	
020280xx99xxxx	角膜の障害【特別な手術・処置を伴わないもの】	-	-	15.47	-	-	
020110xx97xxx0	白内障、水晶体の疾患【水晶体再建術、逢着レンズ挿入を伴うもの】	-	-	2.85	-	-	
020220xx97xxx0	緑内障【緑内障手術を伴うもの】	-	-	8.51	-	-	

眼科の入院はほぼ手術目的です。眼科で最も多いのは白内障手術目的での入院となりますが、対象症例ではないため上記に計上されていません。

泌尿器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院 日数 (自院)	平均 在院 日数 (全国)	転院 率	平均 年齢	患者用 パス
110280xx99000x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全【特別な手術・処置を伴わないもの】	-	-	12.23	-	-	

3) 初発5大癌のUICC病期分類別ならびに再発患者数

5大癌	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明	再発	病期分類 基準※	版数
胃癌	-	-	-	-	-	16	1	7
大腸癌	-	-	-	10	-	118	1	7
乳癌	-	-	-	-	-	-	1	7
肺癌	-	-	-	-	-	-	1	7
肝癌	-	-	-	-	-	31	1	7

※1 UICC TNM分類

患者数が10症例に満たない場合が「-」で表示することとされているので「0」ではありません。再発には他施設で治療された後、当院にて治療された患者を含み、繰り返し入院された場合はその回数を患者数としています。

5大癌のうち、当院での治療は胃癌、大腸癌、肝癌がほとんどです。胃癌、大腸癌は主に外科が、肝癌は主に内科が治療を行っています。尚、手術後の補助化学療法はすべて再発症例に含まれますので、再発症例が多い結果となっています。

4) 成人市中肺炎の重症度別患者数等

重症度	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	-	-	-
中等症	66	32.76	82.79
重症	15	39.07	86.67
超重症	-	-	-
不明	-	-	-

20 歳以上で発症した肺炎を対象にしており誤嚥性肺炎は対象外です。

重症度分類で 10 症例未満の場合は「-」にて表示することとなり、対象者が「0」というわけではありません。

平均年齢が 80 歳を超え平均在院日数が長くなるがありますが、抗菌剤の適正な選択を行っています。

5) 脳梗塞の ICD10 別患者数等

ICD10	傷病名	発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
I63\$	脳梗塞	3日以内	156	61.23	70.22	15.48
I63\$	脳梗塞	その他	12	73.42	75.42	0.60

脳梗塞の患者が入院された時点で、発症から 3 日以内かその他かを示す指標です。

脳梗塞の症例では、発症日から 3 日以内の急性期脳梗塞が多くなっています。脳梗塞急性期には t-PA 静脈療法に代表される内科的治療やカテーテル治療（血栓回収術や頸動脈ステント留置術）などを行っています。ケアミックス病院の特徴を生かし、平均 20 日程度の急性期の治療後引き続いて回復期病棟でリハビリを行っています。入院日数が長く、転院率が低いのは自院で一貫した治療とリハビリを行っているからです。

6) 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位 5 位まで）

◇10 症例に満たない場合は「-」で表示することとなっており、対象患者が「0」ではありません。

◇入院中に複数の手術を行った場合は主たる手術のみカウントしています。

内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）	106	0.43	1.32	0.00	61.71	
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	44	16.48	18.66	9.09	82.05	
K6152	血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） （選択的動脈化学塞栓術）	28	1.00	6.71	0.00	74.39	
K654	内視鏡的消化管止血術	13	0.54	13.00	0.00	56.08	
K6871	内視鏡的乳頭切開術（乳頭括約筋切開のみのも）	11	4.00	5.09	0.00	72.18	

内科では大腸ポリープや大腸腫瘍に対する内視鏡的ポリープ・粘膜切除術を最も多く行っています。また、胆管炎や胆嚢炎の患者に対し、胆汁の流れをよくする内視鏡的胆道ステント留置術や乳頭切開術を行っています。胆道系手術は 80 歳以上の高齢者に多くあります。

循環器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術（その他）	26	0.81	4.92	0.00	69.35	
K597-2	ペースメーカー交換術	22	1.09	8.36	0.00	78.27	
K5972	ペースメーカー移植術（経静脈電極）	-	-	-	-	-	
K5463	経皮的冠動脈形成術（その他）	-	-	-	-	-	
K5951	経皮的カテーテル心筋焼灼術（心房中隔穿刺、心外膜アプローチ）	-	-	-	-	-	

狭心症、心筋梗塞の患者へ経皮的冠動脈ステント留置術や経皮的冠動脈形成術といった心臓カテーテル治療を行っています。また徐脈性不整脈や心不全に対して行ったペースメーカーの交換や頻脈性不整脈に対して、アブレーションも行っています。

外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7434	痔核手術(脱肛を含む)(根治手術)	24	1.04	4.17	0.00	61.21	
K6335	鼠径ヘルニア手術	15	1.07	2.93	0.00	63.20	
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	-	-	-	-	-	
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術(虫垂周囲膿瘍を伴わないもの)	-	-	-	-	-	
K7193	結腸切除術(全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術)	-	-	-	-	-	

外科では痔核手術、ヘルニア手術、胆嚢炎や胆石症などの胆嚢疾患に対して胆嚢摘出術を行っています。胆嚢摘出術は腹腔鏡下試行されることが多く、手術に対する患者の負担をできるだけ小さくするよう努めています。

整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0461	骨折観血的手術(肩甲骨, 上腕, 大腿)	72	1.88	51.06	4.17	77.43	
K0462	骨折観血的手術(前腕, 下腿, 手舟状骨)	52	3.21	24.48	0.00	65.38	
K0463	骨折観血的手術(鎖骨, 膝蓋骨, 手(舟状骨を除く), 足, 指(手, 足)その他)	40	2.15	23.20	2.50	52.68	
K0811	人工骨頭挿入術(肩, 股)	35	1.69	61.83	0.00	83.03	
K0483	骨内異物(挿入物を含む)除去術(前腕, 下腿)	15	1.00	5.13	0.00	57.13	

手術に関しては高齢者の大腿骨近位端骨折や上腕骨折に対する手術が多くなっています。当院は総合病院であるため、術後の合併症に対し治療が可能であり、また同施設内の回復期病棟にて受傷前のADLにほぼ回復するまで治療を受けていただける体制を整えています。

形成外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K013-21	全層植皮術(25cm ² 未満)	-	-	-	-	-	
K427	頬骨骨折観血的整復術	-	-	-	-	-	
K2193	眼瞼下垂症手術(その他)	-	-	-	-	-	
K4291	下顎骨折観血的手術(片側)	-	-	-	-	-	
K434	顔面多発骨折観血的手術	-	-	-	-	-	

脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K178-4	経皮的脳血栓回収術	21	1.62	62.76	19.05	73.24	
K1781	脳血管内手術(1箇所)	18	1.56	60.33	5.56	53.72	
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	13	3.38	18.08	7.69	75.08	
K609-2	経皮的頸動脈ステント留置術	12	14.83	31.92	0.00	68.17	
K164-5	内視鏡下脳内血腫除去術	-	-	-	-	-	

脳梗塞、脳動脈瘤、脳動静脈奇形等の脳血管異常に対して、血管内手術用カテーテルを用いて手術を行います。脳出血の血腫除去には低侵襲な内視鏡を用いることもできます。

2017年はカテーテル治療95件、内視鏡治療は13件、手術総数は209件でした。

眼科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K28210	水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合)(その他のもの)	25	0.00	2.04	0.00	72.20	
K2801	硝子体茎頭微鏡下離断術(網膜付着組織を含む)	23	0.00	8.61	0.00	69.70	
K28211	水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合)(縫着レンズを挿入するもの)	-	-	-	-	-	
K2682	緑内障手術(流出路再建術)	-	-	-	-	-	
K279	硝子体切除術	-	-	-	-	-	

眼科では白内障に対する手術である水晶体再建術が大部分を占めています。次いで硝子体茎頭微鏡下離断術で、網膜前膜、黄斑円孔などの網膜硝子体に対する手術です。上記の白内障手術と硝子体手術を同時に行うこともあります。

7) その他（DIC、敗血症、その他真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固	同一	10	0.36
130100		異なる	15	0.54
180010	敗血症	同一	-	-
180010		異なる	-	-
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
180035		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	-	-
180040		異なる	-	-

播種性血管内凝固症候群（DIC）は肺炎や敗血症などに合併することが多い疾患です。DIC そのもので入院された患者や合併をおこしている患者は全体の1割以下となっています。敗血症や真菌感染症なども肺炎や尿路感染症などから合併することが多い疾患です。入院時すでに敗血症を発症されている患者や入院後に発症された患者も1割以下となっています。